



平成 25 年 7 月 18 日
独立行政法人国立科学博物館

世界最大の蘭グラマトフィルム・スペキオスム

(*Grammatophyllum speciosum*) が開花

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 岩科 司)で、世界最大の蘭である「グラマトフィルム・スペキオスム(*Grammatophyllum speciosum*)」が開花しました。

東南アジアの熱帯雨林の木の上で育つこの植物の開花は気まぐれで、数年に一度しか咲かないことが普通です。特に自生地以外での開花は難しく、国内での開花例は僅かしかありません。この度公開する株は 2005 年以來の開花となります。

公開する株は3mあまりに伸びた 18 本の花茎に合計1500ほどの花をつけており、重さは400kgを超えると想定されます。温室で育てたものとしては世界最大規模の歴史的な開花となります。

見ごろは 7 月 20 日ころからの約 1 ヶ月です。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：遊川 知久(植物研究部多様性解析・保全グループ長)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: nishida@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>



2005 年に開花したときの様子。この時は花茎が 5 本でした。



花のクローズアップ写真

参考情報：筑波実験植物園ではグラマトフィルム・スペキオスムの系統進化に関する研究をおこなっており、この植物が日本のシュンランの仲間とたいへん近縁であること、これまで1種とされていた本種が実は異なった3種の植物の寄せ集めであるなどを明らかにしました。下記の出版物で成果を公表しています。

遊川知久ら, 2002. Molecular phylogeny and character evolution of *Cymbidium* (Orchidaceae). Bulletin of the National Museum of Nature and Science Series B (Botany) 28: 129-139.

遊川知久ら, 2013. Molecular identification resolves taxonomic confusion in *Grammatophyllum speciosum* complex (Orchidaceae). Bulletin of the National Museum of Nature and Science Series B (Botany) 39: in press.

筑波実験植物園の基本情報

開園時間 9:00～16:30（入園は16:00まで）

※但し、7月20日（土）～8月31日（土）は17:00まで開園

休園日 毎週月曜日（祝日・休日の場合は開園）

祝日・休日の翌日（土曜・日曜日の場合は開園）

年末年始（12月28日～1月4日）

※但し、10月21日（月）、12月24日（火）、3月17日（月）、
3月31日（月）は開園

入園料 一般 300円（65歳以上の方及び18歳未満の方は無料）

団体 200円（20名以上）

リピーターズパス 1,000円

交通案内 〔お車でお越しの方〕

常磐自動車道 桜土浦I.C.から北（筑波山方面）へ約8km。無料駐車場あり。（乗用車120台分）

〔電車・バスでお越しの方〕

つくばエクスプレス線「つくば駅」（つくばセンターバスターミナル）下車。

路線バスで「筑波実験植物園前」下車徒歩2分または「天久保二丁目」下車。徒歩8分。

